

令和8年産 特別栽培米「奥出雲千石米 コシヒカリ」栽培ごよみ(飯南)

月	4 月					5 月					6 月					7 月					8 月					9 月									
	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25					
生育段階・区分	播種					田植え					有効分けつ					無効分けつ					幼穂形成					穂ばらみ					登熟				
水管理																																			
技術内容	<p>◎元肥は控えめに！ ・有機物多用田では減肥</p> <p>◎植え付けは適正に！ ・一植い体系処理に本は予よ効三三箱果cm施的程薬除本度</p> <p>◎水管理の徹底 ・中干しへ株二〇本以上になった頃</p> <p>◎穂肥は適期に適量を！ ・出穂前18日・幼穂長約5mm</p> <p>◎仕上げは万全に！ ・穂いもち防除・カメムシ防除</p> <p>・稲わら腐熟促進</p> <p>・網目四〇〇ミリ使用は避けゆくりと</p> <p>・適正乾燥は避けゆくりと</p> <p>・適期刈取り</p> <p>・適期落し水</p> <p>・※落水後は間断灌水（胴割粒・未熟粒の防止）</p> <p>・（完全刈取りは収穫後1週間断かん水）</p> <p>・力メムシ防除</p> <p>・葉色・茎数をみて生育に応じた施用を！</p>																																		

◆農薬使用基準(成分回数8回以内)

注)〇内の数字は成分回数を表します。農薬使用基準を正しく守りましょう。

種子消毒	<p>●種籾は無消毒種子を用いて温湯種子消毒を行う。 ただし、以下の方法も選択可能とする。</p> <p>●温湯消毒済種子への浸漬前・浸漬時にタフブロック処理を行うこと。 ●温湯消毒済種子へのタフブロック温粉衣した種子を使用すること。 ※タフブロックは農薬成分回数はありません。</p> <p>★タフブロックをご使用の際はJAへご相談ください。</p>	
育苗箱施薬	<p>稲名人箱粒剤 ②</p>	
除草剤	初期	先陣1キロ粒剤 ② 又は、先陣ジャンボ ② 又は、先陣200FG ② New!!
	初中期	オイカゼZ1キロ粒剤 ② 又は、オイカゼZジャンボ ② 又は、オイカゼZ250FG ②
本田防除	【出穂前～出穂期】	<ウンカ類・カメムシ類> キラップフロアブル ① 又は、キラップ粉剤DL ① New!!
	【出穂後】	<カメムシ・ウンカ類> スタークル液剤10 ① 又は、スタークル粉剤DL ①
<p>その他に「いもち病・紋枯病・稲こうじ病」対策として、農薬カウントされない防除剤を別紙に記載しております。</p>		

◆土づくり資材(土壌改良剤)下記資材は、生産者の判断で使用ください。

- 腐熟促進剤
アグリ革命アクア・豊土サングリーン・ワラクサール
- 含鉄資材(10アール当り施肥量) 田んぼの守 60kg
純鉄ARG=2000 60kg・ミネラルG(粉) 200kg・ケイテツ 80kg
- リン酸質肥料
リンスター30(BMリンスター30)・苦土重焼燐・ファイトアップ・マルチサポート2号
- マンガンホウ素肥料 マルチサポート2号
FTE(マンガン・ホウ素等)・ミネラス・アグリエース
- 漏水田対策(荒起し時)
農業用ベントナイト(0.7t~1t/10アール)を施用する。

◆施肥基準(10アール当り) ◎化学肥料由来の窒素量(2.75kg/10a)厳守

肥料名	元肥	追肥	成分量(kg)			
			窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量					
堆肥	※注1 1000					
リンスター30	10			3.0		0.8
珪酸加里 プレミア34		20			4.0	0.8
すご稲有機 355 ※注2	35		4.55 (2.23)	1.8	1.8	
合計			4.55 (2.23)	4.8	5.8	1.6

※注1・堆肥は10アール当り0.5t~1tとするが、堆肥の施用量については、土づくりの集積状況や土壌診断に基づいて決定する。

※注2・すご稲有機355は、基準量の±30%の範囲内で、圃場条件により増減が可能です。但し、最高40kg/10aまでとします。

一発肥料体系は穂肥の必要がありません。但し、

肥料名(いづれか)	肥効(上限)	穂肥(上限)	成分量(kg)/10a		
			窒素	リン酸	加里
優作	普	10	1.0 (0.49)	1.0	1.0
島コシ 化成1号	速効	5	0.5 (0.5)	1.0	0.75
みんな ゆ〜き	緩効	10	0.7 (0)	0.2	0.2

近年の高温対策の為、基肥施肥窒素を4.5kg前後に増設定しています。

肥料名	元肥	追肥	成分量(kg)			
			窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量					
堆肥	注1 1000					
リンスター30	10			3.0		0.8
プレーバーペースト 734	40		2.8 (1.37)	1.2	1.6	
珪酸加里 プレミア34		20			4.0	0.8
優作 ※注4		15	1.5 (0.74)	1.5	1.5	
合計			4.3 (2.11)	5.7	7.1	1.6

近年の高温対策の為、基肥施肥窒素を4.5kg前後に増設定しています。

堆肥散布の省力肥料名	基肥(kg)
新ふりかけ堆肥eco	60~80

但し、新ふりかけ堆肥ecoは、1袋20kgで堆肥200kg分の腐植があり、省力散布が可能です。(ミスト機で散布可)堆肥隔年もしくは連用の場合は60kgまで。堆肥無施肥〜3年に1回などの場合は80kgまでとしてください。

※注4・ペースト肥料体系で穂肥の場合には、生育状況に応じて【優作】に替えて下記肥料のいずれかを、上限まで施肥可能です。

肥料名(いづれか1つ)	穂肥(上限)	成分量(kg)		
		窒素	リン酸	加里
みんなゆ〜き	20	1.4 (0)	0.8	0.8
島コシ化成 1号	5	0.5 (0.5)	1	0.8

()内は、化学肥料由来の窒素量

※粒状肥料体系(全層施肥)については、【令和8年産 特別栽培米「奥出雲千石米 コシヒカリ」栽培ごよみ(飯南)】の施肥設計を掲載していませんが、引き続き粒状肥料体系でも栽培可能です。(別紙、参照ください)

特別栽培米「奥出雲千石米」コシヒカリ 粒状肥料体系基準（基肥＋穂肥）

（）内は、化学肥料由来の窒素量

肥料名	基肥(kg)	追肥(kg)	成分量(kg)			
			窒素	燐酸	加里	苦土
生わら	全量					
堆肥	※注1 1,000					
リンスター30	10			3.0		0.8
優作 特	30		3.0 (1.47)	3.0	3.0	
けい酸加里 プレミア34		※注2 20			4.0	0.8
優作 特		※注3 15	1.5 (0.74)	1.5	1.5	
合 計			4.5 (2.21)	7.5	8.5	1.6

※注1 「堆肥」は、10アール当り0.5t～1tとするが、堆肥の施用量について土づくりの集積状況や土壌診断に基づいて決定する。

※注2 「けい酸加里プレミア34」は、中間追肥での施用。

※注3 「優作 特」の穂肥は、出穂前18日（幼穂長約5mm）での施用。

特別栽培米「奥出雲千石米」 農薬使用カウントされない本田防除剤（コシヒカリ・つや姫）

農薬名	摘要病害虫	希釈倍率	使用液量 (10a当り)	使用時期	使用方法
カスミン液剤	いもち病	1,000倍	60ℓ～150ℓ	穂揃期まで	散布
		8倍	800mℓ		無人航空機による散布
バリダシン液剤5	紋枯病 もみ枯細菌病	1,000倍	60ℓ～150ℓ	収穫14日前まで	散布
カスミンバリダシン液剤	いもち病 紋枯病	1,000倍	60ℓ～150ℓ	穂揃期まで	散布
		8倍	800mℓ		無人航空機による散布
ドイツボルドーA	稲こうじ病	2,000倍	60ℓ～150ℓ	出穂10日前まで※1	散布

※1 「ドイツボルドーA」の使用については、散布後に高温となる場合は薬害を生じやすいため天候や散布の時間帯に注意する。
また、出穂期以降では特に薬害が生じやすいため出穂10日前以降の使用は避ける。
なお、散布後7日間は落水・かけ流しを行わない。

【混用例】「キラップフロアブル」との混用の可否

農薬名	判定
カスミン液剤	○
バリダシン液剤5	○
カスミンバリダシン液剤	○
ドイツボルドーA	×

※ 「カスミン液剤」、「バリダシン液剤5」、「キラップフロアブル」の3剤混用は事例がありません。
よって、混用する場合は「カスミンバリダシン液剤」と「キラップフロアブル」の混用としてください。